

いのちと健康を守る活動

組合活動ってどんなことしてるの？ 耕運機貸出と保健セミナー

9月19日、サランガニ州の一番西の端、パリンバン町バロンギス村の耕運機貸出組合を訪問しました。バロンギスは約750世帯。半農半漁のイスラム教徒の村です。米以外の農産物は、ココナツ、トウモロコシ、コーヒー、果物(バナナ、マンゴー、ドリアン、ランブータン)を平地で耕作しています。ほとんどが自身の土地を耕作していますが、地主から土地を借りて耕作したり、農場に雇われたりすることもあるそうです。女性は山岳部に畑を作り、野菜を栽培しています。子どもの数は1夫婦平均6~7人。この組合に加盟しているのは40世帯です。

組合員はミーティングに4回出席しないと自動的に除名となります。その厳しい規則が組合活動の継続を支えていると感じました。しかし、ただ厳しいだけでなく、組合員女性の数名はヘルスポストを支え、地域住民の健康を守る保健ボランティアの活動を楽しみながら行っています。女性の活動と男性の活動、それぞれのバランスが取れていました。



耕運機の心臓部、エンジンのメンテナンスを
慎重に行う男性組合員

この日は年配者の血圧チェック、健康相談、セミナーは同行した若手の PIHS スタッフが担当、子どもの体重測定と給食の用意はバロンギスの保健ボランティアたちが担当しました。若手スタッフも保健ボランティアも自身の技術を研鑽しています。セミナー中は笑い声が絶えず、スピーカーは「ここまで質問はありませんか？」と度々確認をします。「バセドー病の場合はどのような食べ物を食べればいいですか？」等の質問が挙がりました。



携帯電話もなかなか繋がらない、へき地の村。そんななかでも女性たちが自分と家族の生活をより良くするために、PIHSに頼りすぎることなく、仲間と力を合わせて頑張っています。(九島)
(WE21ジャパンみどり助成)

ジョジョのクリニック報告 6月分

CMIPが関わる約50の伝統的コミュニティを対象として、本年度は約50万円を充当させていただいている医療支援の定期報告です。

* 本部クリニックでの支援患者数:21名

風邪・インフルエンザ 9・外傷 3・皮膚炎 2 他、気管支喘息、皮膚炎、おでき、下痢、関節炎が各1名。

* 巡回診療:

6/29-30: ティボリ町のラムダマイで実施。72人が受診。医療保険加入申請に必要な書類リストを渡した。

* 特別医療支援:

6/11 ハイスクール3年に復学したエドナの定期健診に同行。うつ状態で授業についていけないという訴えもあり、薬を増やしたところ、6月末時点では順調に学業を継続している。

— 8/27,10/2 付ジョジョの近況報告より —

*8/12 ラムリフュー、8/19 サムラング、それぞれの村で医療保険加入指導を行った。来年 HANDS 奨学生として医学部に進学予定の看護師レアさんも手伝ってくれた。

*7月の夫の脳腫瘍の入院および手術に際して、HANDS 会員有志の方々のカンパに大変感謝いたします。おかげさまで順調に回復し、喜んでいましたが、9月末激しい頭痛を訴え、再度入院しました。クリニックでの患者対応は続けますが、HANDS への報告が充分に行えないことに、ご理解を頂きたいと思います。